1976 年 2 月 25 日第三種郵便物認可（毎週 4 回月曜・火曜・木曜・金曜発行）2024 年 7 月 29 日発行　SSKO 通刊 11691

SSKO

NPO法人 共に歩む市民の会 会　報

２０２４年７月３０日　発行

共に歩む市民の会広報委員会
横浜市旭区鶴ケ峰 1-29-1
☎045-453-8386
http://tomoni-people.net/

【新生ほっとぽっとで初めての総会を開催しました】

昨年 10 月に移転後、初の総会が６月８日（土）午後１時半より開催されました。例年ですと外に会場を借りて開いている総会ですが、今回はせっかく新しく広い建物があるので、ほっとぽっとの多目的ルームで行う事となりました。

広いスペースがあるとはいっても建物の構造上、（２ｘ４という木造のため）大きなスパンの部屋を作ることはできず部屋の中に構造壁が４本立っています。そんな部屋でのレイアウトに事務局長は朝から苦戦していました。何度もテーブルのレイアウトを変更してやっと満足のいく形をとることができました。

構造壁で演台の方が少し見にくかったりということはありましたが、それよりも自分たちの場所で開催できたことに大きな意義を感じました。

さて、１時半から始まった総会ですが、内容は総会資料の通りです。来賓として旭区高齢・障害支援課長・國分忠博様、旭区社会福祉協議会事務局長・工藤久様にお越しいただき、また議長を村木雄一さん、書記を秋葉薫さん、勝澤愉紀子さんに務めていただきました。資料には詳しくは書いてありませんでしたが、特筆すべきこととして昨年度は例年以上のご寄付をいただいたことです。移転に際しての寄付のお願いをさせていただいたレスポンスと感じておりますが、それをありがたく使わせていただき、事務所の冷蔵庫、備品等を購入しましたとの説明がありました。

また、今年度の基本方針として法人創立 20 年目を迎えることを改めて確認いたしました。「精神保健福祉をめぐる環境は大きく変わったが、精神障害（者）へのまなざしはまだまだ変わっていないと思う。次の 20 年に向け、新「ほっとぽっと」やグループホームの円滑な運営とともに、当事者が安心して暮らせる旭区づくりに向け、拠って立つ土壌を耕す１年としたい」と理事長からの力強い挨拶がありました。

こうしてほっとぽっとでの初めての社員総会は３時につつがなく終了いたしました。

【総会第２部について】

今年の総会では５年ぶりとなる総会第２部を持つことができました。ここ数年間はコロナ禍による総会出席者の制限もあり、短時間で終わらせることを念頭に開催してきましたので、企画の段階で皆さんと共有したいことがいっぱいありすぎて、何を持ってこようかと迷いました。

新しい革袋には新しい酒を盛れということわざに倣い、新しい酒を造りだすべく、今回は参加者の皆さんに思いのたけを語っていただくことにしました。ただ、いきなり「さあ、皆さんお好きにお話しください」

と言っても漠然としすぎるという事でこちらからテーマを投げかけることにしました。

Ｆさんの「皆さんに教えてほしいことがある」との一言から、３人の当事者の方に今困っていることなどを語ってもらい、それについて参加者が３つの島にわかれてフリートークするという形です。

Ｆさん：ご近所で挨拶ができない。どう思われているのか不安。近所付き合いはどうしたらできるのか。

Ｔさん：地方都市からこちらに転居してきたが、地方と違って横浜ではご近所の偏見や差別と向き合わなくて済むので快適に暮らせている。同じ障害を持つ人が出会い一緒に行動できることがありがたい。

Ｓさん：特に困ったことはない。ただ、社会貢献活動に参加したいが、「障害があるから遠慮してください」になってしまうこともある。

こんな投げかけに対して参加者の方々は活発なグループトークを交わしてくれました。曰く、障害の有無に関わらず、地域との繋がりは皆さんあまり求めていない、社会が濃い関係を求めてはいない。普段の付き合いも積極的に求めてはいない、等。ご近所との関係性は無理やり作るものではない、ご近所に過度な期待をしない、というご意見もありました。

今、社会が大きく変わってきています。当事者の方の投げかけは障害の有無に関係なく、皆が抱えている不安であるのかもしれません。

短い時間でしたが様々なお話がありました。もちろん結論が出るような話でもありませんでしたが、参加者の皆さんとざっくばらんにお話しする機会を得られて、有意義な時間となりました。参加くださった皆様、ありがとうございました。

【新ほっとぽっとで運営連絡会を開催しました!】

施設長　田中梨奈

去る３月６日（水）令和５年度旭区生活支援センターほっとぽっと運営連絡会を開催しました。今回はほっとぽっとに足を運んで頂き、移転後の施設見学も兼ね、多目的室にて 26 名（職員含む）の出席にて行いました。この運営連絡会は、横浜市要綱に基き、地域の関係者、当事者・家族、行政、医療・相談機関、支援施設等の委員 23 名で構成されており、年１回皆様から活発なご発言をいただき運営に反映しています。

見学では、内覧会の時より実際利用が始まってからの様子がわかり易かったとの感想を頂きました。会議では、初めに当会議の峯宇邦男会長より挨拶を頂き、次に村岡理事長より、移転完了の報告とご協力へのお礼を述べました。委員の交代、就任の紹介の後、令和４年度事業及び運営報告、決算報告、施設移転報告をさせていただきました。

コロナ禍、移転と大きなことが続きましたが、利用者とも話し合い、地域や行政の皆様のお力添えのおかげで、移転完了と新たな運営に取り組むことができました。

質疑・意見交換では「新施設に期待すること、要望」について、活発なご意見を全員から頂きました。抜粋してお伝えします。

・発信も大事だが地域からの意見を受止め、取り入れて運営にあたって欲しい。
・町内会と一緒に行事に参加して地域を盛り上げて欲しい。
・精神障害当事者も地域で共に生きている仲間として関係を創り、一緒に学んでいきたい。
・移転後とても明るくなった印象。鶴ヶ峰地区は一体感、連携が素晴らしい。
・「にも包括」「アウトリーチ支援」の中心的役割を担い職員が外へ出て行くことがますます増えて行くだろう。開設時のアットホームなほっとの良さもあるが、ひきこもりなど困難な課題に専門相談機関として対応してほしい。
・家族会が果たす支え合いは大切。沢山の家族をつないでほしい。

・新施設はきれいだが明るすぎ、音の反響も気になる人もいる。ランチは好評。
・生活訓練施設として連携を取り地域移行・定着支援をしている。センターはまだまだ周知されておらず、もっと活用されるべき。
・こんなに多岐に渡る活動をしていることに驚いた。職員の負担や人手不足に対しサポートできれば協力したい。行きやすい居場所を地域と一緒に創って行けると良い。
・自治会・民生委員・社協と連携しているのがいい。旭区は精神の課題が多いので職員数も増やして欲しい。
・身体、知的障害に比べ精神障害の相談ニーズが増加している。
・利用者の声を聴き、今後利用者にとってより良い施設を目指して欲しい。
・地域に根差した施設を目指して欲しい。

その後、市内で障害者グループホーム反対運動が起きた報道について、地域住民として、驚くと共に考えさせられたという意見があり、知り、互いの理解・交流が日常の中に根付くことが障壁の除去に必要と話し合いました。

【ほっとぽっと通信】～移転後ほっとぽっと始動中

移転後のほっとぽっとの様子をお知らせします。引越しのためバタバタしていた期間は利用者、関係者の皆様にもご迷惑をおかけしました。新しい建物、ルール変更にも慣れてもらい「ここで何ができる？何がしたい？」を利用者と話合い、チャレンジしています。プログラム、サークルはコロナ前並みに復活し、新しいイベント、日常のプログラムも充実させていきたいと思います。
【スタッフよりひと言】フリースペースの活動の中で、利用者の皆さんの「やりたいこと」を実現して一緒に楽しめる機会を増やし、仲間を増やして行けるといいと思っています。
利用者ミーティングやスタッフにご意見をお寄せ下さい。　　（佐藤）

４月　　お花見 散歩
５月　　タカナシばら園 散策
６月　　ボッチャ大会 初参加！
７月　　横浜市市民防災センター

お庭番くらぶ(園芸) 随時

【メゾンほっと通信】

連日の暑さが続いている中皆様いかがお過ごしでしょうか？
おかげさまで、メゾンほっとは７月に居室が満室となりました。
引き続き、入居者の皆様が安心して地域で暮らせるように支援できればと思いますので今後ともよろしくお願い致します。

【地域食堂「まちあわせ」が鶴ヶ峰に誕生しました】

ほっとぽっとのある鶴ヶ峰地区は区役所のお膝元であり、区社協もあるにもかかわらず、今まで子ども食堂、地域食堂というものがありませんでした。

今年４月から待望の地域食堂が区役所出口を出てすぐの鎧橋自治会館で開催されています。毎月第４

土曜日（区役所の開庁日）12 時～2 時です。

限定 50 食でスタートしました。地域食堂と言う名前のとおり、どなたでも入れます。今のところはカレーを提供しています。地区社協のメンバーが調理等を引き受けています。食事が終わった方は 2 階のフリースペースでくつろいでいくこともできます。子ども達と遊ぶべく、ボランティアの方たちもいらっしゃいます。

大人 300 円、子ども 100 円での提供です。食事を提供するだけではなく、そこが皆さんの憩いの場になることを願って「まちあわせ」と名付けました。そこで友達と待ち合わせてもいいし、知り合った方々と待ち合わせてもいい、そんな思いを込めました。皆様のお越しをお待ちしております。

【第 97 回理事会報告】

◇日　時　　２０２４（令和６）年４月 25 日（木）　17 時 30 分～

◇場　所　　旭区生活支援センターほっとぽっと　　多目的室

審議事項：第 20 回市民の会総会議案書について

【第 20 回市民の会通常総会報告】

◇日　時　　２０２４（令和６）年６月８日（土）　13 時 30 分～

◇場　所　　旭区生活支援センターほっとぽっと　　多目的室

審議１：　第１号議案「2023 年度事業報告について」

審議２：　第２号議案「2023 年度収支決算について」

審議３：　第３号議案「2024 年度事業計画（案）について」

審議４：　第４号議案「2024 年度収支予算（案）について」

審議５：　第５号議案「共に歩む市民の会定款の改訂(案)について」

市民の会・ほっとぽっと・メゾンほっと

・ほっとぽっと運営連絡会　７月２９日（月）

・スイカ割り大会

・ピア主催 ズーラシア散策

・メゾンほっとカレーを食べる会　毎月月末の木曜日

（入居者全員と職員が一堂に会し同じカレーを食べて親睦を図る会を最近始めました。NPO法人はこべの自然農法の野菜を利用したカレーです）

※常日頃からの法人へのご協力を感謝いたします。

４月～６月までに寄付をいただいた方　（敬称略）

宮川博　瀧澤久美子　岩井美穂　中和田恵子　髙幡勇　岩渕勝昭　小澤清子　郡山隆行　　曽我新吉　徳久和彦　田中梨奈　小久保良子　岡林郁子　内田由里子　伊達和子

編集後記：つい先日、鶴ヶ峰地区を流れる帷子川で痛ましい水難事故があり、小学生が亡くなりました。利用者さんが鮎釣りを楽しんでいるという話も聞く川での出来事です。心から哀悼の意を表します（國井）

編集人（第 70 号）
〒241-0022 横浜市旭区鶴ケ峰 1-29-1
ＮＰＯ法人共に歩む市民の会　広報委員会
定価　50 円
低料第三種郵便物の認可を受け、ＳＳＫＯ（副題　ＮＰＯ法人共に歩む市民の会会報）として発刊します。

発行人
〒157-0072　東京都世田谷区祖師谷 3-1-17
ヴェルドゥーラ祖師谷 102
特定非営利活動法人　障害者団体定期刊行物協会